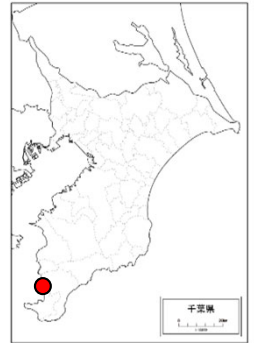


20.【陸域：食堂】水産業と観光の連携に資する魚食普及食堂の整備：富浦漁港（千葉県南房総市）

概要

- 南房総市では、漁業生産力が低下していたところ、町村合併により新たに市の総合計画を定めるにあたり、漁港の基盤整備、観光の推進や漁業の活性化を目標とした漁港長期計画を策定。
- 上記計画に基づき、異業種連携を図るため、補助用地と単独用地を交換し、魚食普及食堂を整備。
- 魚食普及と水産業への理解促進や、漁村地域の活性化が期待される。



背景

- ・漁業生産力の低下により、今後は販売手数料だけでは漁協経営が困難になり、種苗放流などの管理型漁業の推進が継続できなくなる恐れがある。
- ・平成18年に7町村が合併し南房総市が誕生し、新たに総合計画の策定にあたり、漁港の基盤整備、ブルーツーリズムの推進等による都市との交流や活力ある漁業を目指す方針を固め、漁港長期整備計画を策定。合わせて地区計画として南房総市内房漁村再生計画を策定。

有効活用の内容

- ・市全体の活性化を図る上で「水産業」と「観光」等異業種連携を図るため、補助用地を単独用地を交換し、魚食普及食堂を整備。

活用した漁港施設	漁港施設用地（補助用地である製氷、冷凍及び冷蔵施設用地、漁具保管修理施設用地、水産倉庫用地と、市単独用地である漁港関連施設用地を交換）
実施時期	平成24年度
実施主体	岩井富浦漁協（旧富浦町漁協）
活用した事業	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
実施した手続き	用地交換、漁港施設用地利用計画変更

富浦漁港：魚食普及食堂「おさかな倶楽部」



効果

- ・周辺地域住民、都市住民との交流が深まり、魚食普及と水産業への理解促進が図られた。
- ・漁民の生活改善と漁村地域の活性化が図られた。

○魚食普及食堂「おさかな倶楽部」利用実績（直近5年）

H27	52千人	69百万円
H28	56千人	76百万円
H29	57千人	80百万円
H30	56千人	81百万円
R元	48千人	70百万円